

(様式1)

平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

1 政策一施策

都市像	06 安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市		
政策	05 自然と調和したまちなみ		
施策	02 地域にあったまちなみをつくる		
めざす内容	心と自然の調和や伝統的集落などの歴史的景観の再生を図るとともに、市街地に活気と潤い、落ち着きと風格のある景観を創りだして、人と自然にやさしい亜熱帯庭園都市をめざします。		
施策の取り組みの柱と方針			
<p>1. 景観に配慮した都市空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係部署と連携しながら、水やみどりなど自然の景観を活かしたまちなみづくりを推進します。 ○都市景観条例に基づいて、建築物・工作物・屋外広告物の指導・誘導を強化します。 ○景観法の趣旨に基づきながら美しいまちなみづくりをおこなっていきます。 ○国・県・市の公共事業の連携の仕組みづくりをすすめ、総合的な都市景観の形成を図ります。 <p>2. 景観資源の再生と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○景観形成地域への赤瓦・石垣に係る助成制度を推進します。 ○景観形成地域の景観誘導を円滑にするための建築 			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	都市計画課都市デザイン室	関連課 企画調整課

2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
112 地域に合ったまちづくりが されていると感じる人の割合	%	-	23.1	40	50	市民の実感をもとに、地域にあったまちなみづくりの状況をみよとする指標です。 10年後には市民の約半数が実感できることをめざします。
		取得方法または 出典など	市民意識調査。			
		H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が 困難な場合はその理由	前回の調査で用いた「やや・・」という表現を「どちらかといえば・・」に置き換えて調査を行った。前回調査(39.8%)より、理由は定かではないが、大幅に下がる(16.7%)結果となった。			

3 今後の展開方針

<p>平成22年度に景観法に基づき、本市の社会状況等の変化に対応し、かつ、より充実した景観形成を図るため、景観形成に関する方針などを定めた「那覇市景観計画」を策定した。</p> <p>平成23年度は同計画に基づく景観形成の誘導を図り、良好な景観形成のための「ガイドライン」策定を予定している。今後は同ガイドラインに基づき、各エリアの景観要素等を踏まえた、きめ細かなデザイン誘導が行われ、個性のあるまちづくりが図られるものと思慮する。</p>
--